

- ②-⑧ 特集 性差と役割
- ⑨ 街の話題/コラム
- ⑩ パートナーシップ宣誓制度
- ⑪-⑫ お知らせ



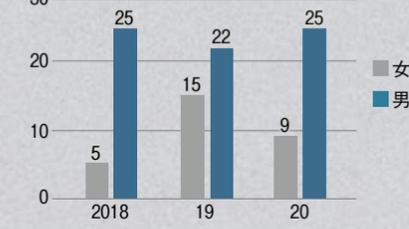
それぞれが
好きな色を

特集
性差と役割

全国の一般労働者の賃金(1カ月分)



市内の自殺者数



三田小学校の登校風景

赤・紫・茶・桃色。色とりどりのランドセルを背負った子どもたちが軽やかな足取りで学校へと向かう。女子は赤、男子は黒だったのは昔の話。今はそれぞれが好きな色を選ぶようになった。

世界中でジェンダー平等が叫ばれる中、コロナ禍は女性の雇用悪化や家事・育児の負担の増加など、生きづらさを浮き彫りにした。一方で男性は、古くから働き手として活躍することを強く求められ、自殺者は例年、女性よりも多くなっている。

3月8日は女性の生き方を考える国際女性デー。変わりつつある社会でも、性差による役割のイメージは強く残っている。一人一人が自分らしく暮らすために必要なことは何か、考えてみた。

《2〜8面に関連記事》

Q 性別による生きづらさを感じたことがありますか？



「人間らしく」が第一

市立病院精神科 西村 浩 医師

古くから日本では、男性が「一家の大黒柱」とされ、経済的に家庭を支える役割を背負ってきました。受ける相談も、男性は過重な労働や職場の人間関係など、仕事に関する悩みが多いです。一般的に女性より男性の自殺率が高いですが、家庭を支える責任が武士の「腹切り」のような自死に男性を追い詰める背景になっていると感じます。

コロナ禍で女性の自殺が増えている理由は解明されてはいませんが、経済的基盤が男性より弱いことと関係があると考えられます。困難な状況では常に、弱い立場の人が被害を受けやすいです。

富国強兵がうたわれた時代の日本では「男は兵士らしく、女はそれを支える」という教育がされましたが、日々診察をする中で、今は「人間らしく」を第一に考えるべき時だと感じています。

女性ばかりが**育児も家事もして当たり前**という空気感。(50代女性)

女性だけ**カッコイイもの**が好きで、男性用の服を着ると**おかしいかなと**考えてしまう。(～10代女性)

ファッションの不自由さ。男女によって**身に着ける色や物が**、暗黙の了解で**決まっていた**。(20代男性)

小さい頃はよく異性と遊んでいたが、年頃になると、男女でいるだけで「好きなんだろう」と、はやし立てられるようになってしまった。**友達と遊びたいだけなのに**。(20代その他)

Q ジェンダー平等の社会に向けてできることは何だと思いますか？

ジェンダーの理解は大切だが、男らしさ、女らしさはあっていいと思う。**今の風潮は少し行き過ぎ**では？(60代女性)

男らしく女らしくと思うのは自由。好きなようにそれぞれすればいい。**ジェンダー平等などと騒ぎ立てるのは不愉快**。(70代男性)

Q あると答えた方はどんなことに対して感じましたか？



学生服は女子がスカート、男子がズボンがほとんど。校則で決められているのかもしれないが、性別に対する**固定観念はなかなか変えられないもの**だと思った。(60代女性)

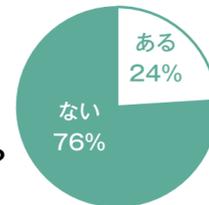
おじいさんが、「男同士で手をつなぐのは気持ち悪い、男は女と手をつなげ」と言っているのを聞いた。**古い**など思った。(～10代男性)

「らしさ」のような常識は自分の中にもあるので、差別とは思わない。ただ、**一方的な決めつけは良くない**と思う。(40代男性)

男らしさ女らしさはとても大切なこと。らしさがあるから、お互いの生き方を尊重し合うのでは？(50代女性)

家庭での役割分担。人それぞれだから**決めなくていい**と思う。(～10代女性)

Q 決めつけをした・されたことがありますか？



子どもがおまごごとをしていると、「やっぱり女の子ね」と言われた。**個性**なのではないかと思う。(30代女性)

小さい頃母親に、**男のくせに**どうだとか、ある人からは、男は女の子の服を着てはいけなかった。(20代男性)

男は男らしく、女は女らしくすべきと言われていた。(70代女性)

正しい理解をして、**声にしていく**。(50代男性)

古い考えを捨て、怖がらず**新しいものを受け入れていく**必要があると思った。(～10代男性)

認め合い、理解し合う。(～10代女性)

若者世代が平等な考え方をしているも、**年配の世代の考えと開きがある**ので、変えるのは難しいと思う。(30代女性)

数字で見る「性差と役割」の現状

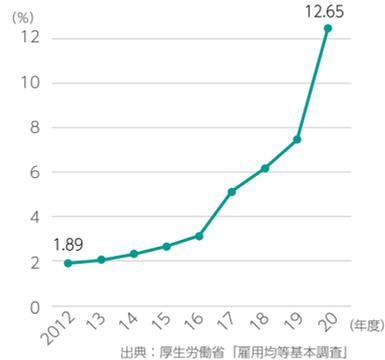
世界の男女格差順位

各国の男女格差(ジェンダーギャップ)を測る指数。経済、政治、教育、健康の4分野から算出される。

1位	アイスランド
2位	フィンランド
3位	ノルウェー
23位	イギリス
30位	アメリカ合衆国
102位	大韓民国
107位	中華人民共和国
120位	日本

出典：世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数2021」

全国の男性育児休業取得率



出典：厚生労働省「雇用均等基本調査」

性別ではなく個人を尊重する社会に

市男女共同参画推進委員 萩原 たま代さん(69)



アンケートの結果は「ない」が半数でしたが、もう半分の人が「ある」と思っている以上「現状でよし」ということではないと思います。ジェンダー平等は、政策には掲げられていますが、ジェンダーギャップ指数が世界で120位という結果からも分かるように、女性の賃金や男性の育児休業取得率の低さなど、実際の市民生活とのギャップはまだ大きいです。

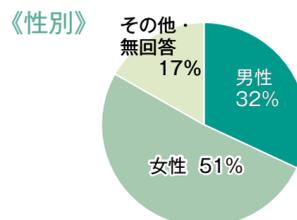
女/男の2択ではなく、一人一人がかけがえのない存在であることを尊重し合える社会になってほしいです。

社会に根強く残る、性差による「らしさ」。性別や年代によってその捉え方に違いがあるのか、実際にどんな経験をされたのかなど、アンケートで市民の皆さんの声を聞いた。

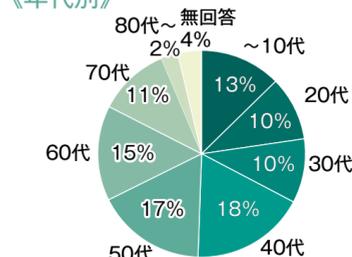
性別と「らしさ」

経験や思いをアンケート

回答割合



《年代別》



回答数 269件
実施期間 12月7日～1月21日
回答方法 紙回答、インターネット



市の子育て支援センターで

望む人が制度を使える社会に

西村 好康さん (39・田村町)

「今日もいっぱい遊んだね」「楽しかったね」。一人座りができるようになったばかりの娘たちをあやすのは、西村好康さん。昨年7月に初めての子どもが生まれ、12月までの約半年間、育児休暇を取得した。

2020年12月、妻の有紗さんの妊娠が分かり、双子と知らされた。「調べると、とにかく大変、休みがない、人手が必要、という情報と並んでいた。妊娠中の心身の不調や産後うつなど、妻の体も心配だった」。西村さん夫婦は共働きで、お互いの両親も近くにはおらず、頼れる人がいなかった。感染症の影響で支援サービスなども利用しづらい状況を考えて、二人で協力すると決めた。

好康さんはすぐに、育児休暇について職場に相談。二人で協力すると決めた。24時間休みはない。寝かしつけたと思っても、一人が泣けばもう一人も起きて泣き始める。産後の妻一人で面倒を見るなんてとても無理だと、好康さんは実感した。両親も学級に参加したり育児本を読んだりと備えていたが、どんなに事前にも調べても、結局は手探りで慣れるしかない。と知ったのも、実感の一つだった。「育児には正解がないと痛感した。いくら知識があっても、子どもの個性はみんな違う。昨日まで泣き止んだあやし方が今日は通用しなくなることもある。実際に自分でやってみなければ分からない」と好康さんは振り返る。生後3カ月頃からは市の子育て支援センターにも通い始め、今ではほぼ毎日利用しているという好康さん。情報交換もできる他、「一日

力すると決めたものの、キャリアに空白ができることや、問題なく復帰できるか不安も大きかった。しかし仕事は同僚に代わってもらえても父親の代わりはいないと考え、春には半年間の休暇を取ることを決めた。職場には過去に取得した男性社員も居て、同僚も協力的だった。

「生まれてからの大変さは想像以上。3時間おきに授乳し寝かしつけて、24時間休みはない」。寝かしつけたと思っても、一人が泣けばもう一人も起きて泣き始める。産後の妻一人で面倒を見るなんてとても無理だと、好康さんは実感した。両親も学級に参加したり育児本を読んだりと備えていたが、どんなに事前にも調べても、結局は手探りで慣れるしかない。と知ったのも、実感の一つだった。「育児には正解がないと痛感した。いくら知識があっても、子どもの個性はみんな違う。昨日まで泣き止んだあやし方が今日は通用しなくなることもある。実際に自分でやってみなければ分からない」と好康さんは振り返る。生後3カ月頃からは市の子育て支援センターにも通い始め、今ではほぼ毎日利用しているという好康さん。情報交換もできる他、「一日



「中子どもと家で過ごす生活の中でいい気分転換になる」と話す。

休暇中の経験が自信に



「少数派の人」から「私個人」へ

市消防本部 相川分署
第一中隊救急小隊
鈴木 寛子 (41)

小学生の頃に消防士に興味を持ち、新聞で女性消防士の記事を見て「女性でもなれるんだ」と知り、この道を志しました。厚木市の女性消防士は私で3人目。当時はまだ女子トイレすらない分署が多く、勤務地は限られていました。最初に配属されたのは救急隊。隊員は生活を共にするのは限られた女性と過ごす場面が多かったです。自分の一挙一動が目立ち、「少数派の女性」として見られていることに緊張感がありました。後輩の女性が入ってくると「お手本にならなければ」という気負いから解放され、いち職員として認められた気がしてうれしかったのを覚えています。隊員には女性が少なくても、救急車を待つ人は男性も女性もいます。異性には体のことを話さずらい場合もあるため、「女性がいると安心した」と言われることも多いです。昨年、女性用の仮眠室などを備えた新しい相川分署が完成し、救急隊の副小隊長として配属されました。子どもが3人いて、一番下の次男は4歳です。これからたくさん女の子が、消防士になりたいと言ってくれたらうれしいです。



子どもたちと過ごす毎日が充実

南毛利保育所
保育士
大野 由晃 (36)

通っていた保育園の男性園長や、近所のお兄さんに遊んでもらったのがうれしかった記憶から、高校生の頃から保育士を目指していました。その頃は「保母さん」から「保育士」に呼び方が変わり始めた時期だったので、友達には驚かれました。実際に働くと、子どもたちの成長に寄り添うために記録や計画を立てて保育する難しさはありますが、やりたかった仕事に就けて、毎日充実しています。初めは保護者の方から珍しがられることもありましたが、子どもと関わるのがとにかく楽しく、常に子どもたちと向き合っていたので、あまり気になりませんでした。「僕も保育士になりたい」と園児に言われると、見本になっているのかなという気がしてとてもうれしいです。春に一人目の子どもが生まれます。働き始めた時は、育児休暇や結婚・出産による退職がないことが男である自分の強みだと思っていました。しかし仕事で子どもたちと接するうちに考えが変わり、たとえ短くても休暇を取って家族と過ごしたいと思うようになりました。今後は、仕事はもちろん育児も大切にしたいです。

仕事 子育て 誰の役割？

性別と役割の意識は生活の中に溶け込んでいる。子育て中の市民や、性別に偏りのある職場で働く方に体験を聞いた。役割は自分で選ぶもの。思い込みで誰かを傷つけないように、想像力を持ってほしい。

女らしさ、男らしさより「自分らしさ」を

田町 綾さん (仮名) (30代・恩名)

「保育園から帰ってきた長男が、ピンクは女の子の色なんだよ、と言っていて驚いた。そう話すのは、夫と二人の息子と暮らす田町さん。ピンクはそれまで、4歳の長男の好きな色の一つだった。家では性別による決めつけをしないように接していた田町さんが理由を聞くと、保育園の友達から聞いたのだと言った。選ばなくてもいいけれど、ピンクが好きな男の子をばかにしてはいけないこと、誰でも好きな色を選んでいいことを伝えたい。それから息子はピンクを選ばなくなった。好きなものが一つ減ったようで、少し寂しかった」と振り返る。

世間の価値観との違いによる葛藤は多い。小学校の入学準備が始まり、ランドセルを選ぶ時期になる。好きな色を選んでほしいけれど、例えば息子がピンクのランドセルが良いと言った時、すぐに肯定できるだろうか？と田町さんは悩んでいた。「本当に好きなものを選んでほし



い。でも、全員が同じ考えじゃないこともよく分かってる。「らしさ」に縛られないでほしいという思いと、傷つかないでほしいという思いがぶつかり、決心を鈍らせる。

「性別らしさ」に縛られないでほしいと考えるようになったのは、幼少期の体験がきっかけだった。外で駆け回って遊ぶのが好きだった田町さんに対し、兄は家で遊ぶ方が好き。そんなきょうだいを見て両親は「もつとおしとやかに」「女の子らしく」と田町さんに言い聞かせた。「親が求める女の子らしさと、私らしさが合致しないことに違和感があった。幼い頃はその違和感の正体が分からなかったが、親になって初めて、プレッシャーに感じていたのだと気付いた。

「気にしていないつもりでいるけれど、今でも『女らしくできない自分だめだ』と心のどこかで思う。言われた言葉が刷り込まれて、呪いみたい。真つ向から否定する言葉でなくとも、らしさの刷り込みは人を苦しめることがある。だからこそ田町さんは、子どもには男らしさよりも自分らしさを大切にしたい」と考えた。「泣きたい時には泣ける人になってほしい。誰かが泣いていた時、男のくせにだめなやつだ、と思っ

なりたかった職業に就ける喜び

神奈川中央交通東線
厚木北営業所
班長運転士 山本 和美さん(52)

運転士として20年働いています。家が運送会社を営んでいたので、自然と車を運転する仕事に就きたいと思うようになりました。最初にバスの運転士を志望した時は「女性用の設備が整っていない」と言われ、5年ほどタクシー運転手をした後、女性がバスを運転しているのを見掛けてまた応募しました。当時はまだ女性運転士が珍しく、お客さんに驚かれたり、隣の車に乗る人に指を差されたりしました。けれど「女なんかに運転できるのか」と言っていたお客さんに、降りる時「うまいじゃないか」と言われた時はうれしかったです。性別は関係ないと、言葉よりも実際に体験してもらった方が伝わることと感じました。

20年で環境は大きく変わりました。男女で色が違った制服も同じになり女性の運転士も増え、珍しがられることもありません。役職は班長運転士になり、後輩の育成を任せられる立場です。これからも安全で丁寧な運転を心掛け、大好きな仕事を続けたいです。

働く父と母への視線の違い

田町さんは就職と同時に厚木に住み始め、以来15年間、市内で正社員として働いている。会社ではハラスメント研修や育児休暇などの制度は整っているが、個人の意識は改革が進んでいない部分が多くあるという。同じ会社で働く夫は、子どもの送り迎えや看病で仕事を休む時、周囲から「何で君が休むの」「奥さんは何してるの」と言われることがある。自分の時の寛容な反応と比べ、なぜ同じ親なのに母と父でここまで違うのかと田町さんは不思議に思う。

そして、子育てをする女性にも逆風がある。後輩の女性が、子どもの具合が悪く早退する際、年上の男性社員が「そんなじゃ大事な仕事は任せられないよ」と言ったのを聞いたことがある。「違う立場の人の気持ちを想像しないから、傷つける言葉を選んでしまうのでは」と思った。負担を受けるから言いたいことはあると思うけれど、軽い気持ちで仕事を放って帰るわけじゃない。防げるなら防ぎたいのに。その後、男性に苦言を呈したが、後輩の泣き顔を思い出すと、もやもやした気持ちは晴れなかった。

社会全体の考えを今すぐ変えるのは難しくても、身近なところから、少しずつ変わっていくと良いと田町さんは願う。「十数年後、息子たちが大人になる頃には、好きなものを好きと言えるのが普通な社会になってほしい。自分らしく生きられるように」。子どもたちが歩んでいく新しい時代を思っ、希望を抱かずにはられない。



未来のために行動を変える

東海大学 文化社会学部
広報メディア学科 教授 谷岡 理香 さん

現在の性差による格差や役割意識は、過去からの積み重ねで出来上がっています。戦前の民法では、女性は男性の従属物とされていました。戦後の日本国憲法で男女平等がうたわれたものの、高度経済成長期には「男性は仕事、女性は家事・育児」という役割分担が出来上がり、社会の仕組みもそのモデルを中心に整えられていきました。経済成長が国の成功体験になったことから、成長が終わり、実態や制度が変わった今も、かつての役割分担が「空気」としてずっと残り続けています。時には、伝統や文化といった言葉に変えられて。男性が育児休暇を取りにくい、女性管理職や組織の長が少ないのもその影響です。役割分担が効率的とされ、成功につ

《プロフィール》

2001年から東海大学の教員となる。元アナウンサーで、専門はメディアとジェンダー。市の男女共同参画推進講座の講師も務めた。

ながった時代の価値観を否定はしませんが、同じような時代は二度と来ないと考えた方が良いでしょう。少子高齢化が進む中、同じやり方は社会を維持できず、「男／女だから」と言っている場合ではないのです。

「空気」を変えるのは簡単ではありませんが、一人一人にできることがあります。私たちは、自分の言葉や行動に自覚的であるべきです。「普通はこうだ」「～のくせに」「～なのに」と話す前に、一度、相手の立場で考えてみてください。「ベイベーステップ」という言葉が私は好きです。赤ちゃんの歩幅のように少しずつ前進するという意味です。みんなが小さな一歩を重ねることが、より良い未来につながっていくと思います。



会社も同僚も背中を押してくれた

(株)明輝
新倉 正之 さん (30・戸田)

昨年、第一子が生まれ、妻が実家から自宅に戻ったタイミングで1カ月間育児休暇を取りました。上司に相談した時も、快く背中を押してくれました。子どもの成長を見られて良かったし、妻の不安も和らいだようです。職場に復帰した時も「あっという間だったね」とみんな声を掛けてくれました。二度と戻れない大切な時間を家族と過ごせて本当に良かったと思っています。



地域の活性化のために

愛名第3自治会長
市内の自治会長216人中女性9人 小野 若子 さん (73・愛名)

自治会長を務めて6年目になります。以前は総務をしていて、前会長の後任が決まらず、私が引き受けることになりました。女性の会長は少ないですが、地域のことをよく知り、つながりもあるので、活動しやすい面もあると実感しています。以前より、女性が表に出て行きやすい社会になったと思います。それはきっと、地域の活性化にもつながるのではないのでしょうか。

小さな一歩が 社会の空気を 変える

「性差と役割」をテーマに市民生活にスポットを当てると、世代や境遇で捉え方が異なることが分かってきた。誰もがより生きやすい未来に向けて、時代の変化や相手の立場に思いを寄せ、自分で選んだ一歩を踏み出したい。

市の取り組み 男女共同参画だより 「ハあモ二い」



男女共同参画に関する情報紙を、年に1回程度発行しています。

詳しくは

男女共同参画推進講座

多様な性や女性の活躍の推進、男女共同参画の社会づくりに関する講座を開催しています。
《募集》広報あつぎや講座予約システムに掲載

 市民協働推進課 ☎225-2215



目標に性別は関係ない

神奈川工科大学 管理栄養学科
管理栄養学科4年生の男女比1:3 松川 晃明 さん (22)

管理栄養士を目指し、4年間勉強してきました。高校生の頃、将来は食に関わりたいたいと思い、この大学に進学しました。入学して男性の少なさに驚きましたが、目標に向かって進んでいたため、何も気になることはありませんでした。4月からは、より専門的な知識が必要な病院で働く予定です。自分がやりたいことに、性別は全く関係ないと思っています。

苦手を克服するすべを学ぶ

ドローンパイロットと特別支援学級の保護者会が懇談



ドローンのデモンストレーションも実施

厚木第二小学校で、特別支援学級の保護者会の懇談会が開かれました。識字障がいがあるドローンパイロット・高梨智樹さんと父の浩昭さんを招き、これまでの歩みや苦手なことを補う方法を学びました。

懇談は、広報あつぎで智樹さんのことを知った保護者の提案で実現。保護者からの質問に智樹さんは「親が好きなことを認めてくれてうれしかった」、「浩昭さんは「他人と比べても仕方ない。自分の子どもと向き合ってた」などと答えていました。

智樹さんは「皆さんの質問から、とても苦労されていることが伝わってきた。体験を話すことで少しでも助けになれば」と話しました。

コロナ禍にこそ文化芸術に触れて

木版画家の田中里奈さんが作品を寄贈

森の里在住の木版画家・田中里奈さんが、環境破壊への警告をテーマに制作した作品「凝視」を市に寄贈しました。作品は、3月16日まで、本厚木駅東口地下道のあつぎロードギャラリーに展示されます。

田中さんは、国内最大級の総合美術展「日展」で2014・17年に特選を受賞。制作や個展開催の傍ら、木版・水彩画の教室も開いています。寄贈に当たり田中さんは「コロナ禍をきっかけに、芸術の重要性を再認識した。多くの皆さんが文化芸術に触れる機会になったらうれしい」と話しました。



寄贈作品は162センチ×130.3センチの大きさ



県央相模川サミットを開催

六市町村の首長がオンラインで協議

相模川周辺の自治体が共通の課題解決に向けて協議する「県央相模川サミット」が、オンラインで開催されました。

厚木市の他、相模原・海老名・座間市、愛川町、清川村の首長と、オブザーバーとして県の小板橋聡士副知事が参加。広域での温暖化防止対策や新型コロナウイルス感染症の対応状況などを話し合いました。

サミットは、厚木市の提案で2009年に開始。これまで、河川敷の美化清掃をする「六市町村合同クリーンキャンペーン」や水害対策などに取り組んできました。

議長を務めた小林市長は「感染拡大への対応や経済支援などもあり、大変厳しい局面。課題解決に向けて、近隣市町村の連携が必要」と力を込めました。



オンラインで各自治体の首長らと意見交換

卒業の思いを込めて

地域住民と小学生が伝統のせんみ凧を制作

玉川小学校で、恒例の卒業制作・せんみ凧作りが実施されました。6年生33人が地域住民から作り方を学び、2月中旬に完成したたこを校庭で上げました。

たこ作りは、地域との交流や伝統文化を学ぶために2006年から実施し、今回で16回目となります。児童たちは、地域住民らでつくる「玉川せんみ凧保存会」のメンバーから作り方の手ほどきを受け、黄や紫、桃色の色鮮やかな絵の具で、筆を使って真剣な表情で丁寧に色付けしていました。

制作に励んだ箱田元良さんは「もうすぐ卒業。時間をかけたたこ作りは、思い出に残ると思う」と話しました。



丁寧にたこに色を付ける児童たち



第5回 みんなで! SDGs

SDGs (持続可能な開発目標) の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しましょう。

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

生物学的な性別でなく、社会的・文化的な性別のことをジェンダーといいます。「男だから」「女だから」という理由で差別や不平等が生じない社会を目指しましょう。



できる取り組みは?

家事を平等に分担しよう

日本では、「夫は働き、妻は家庭を守る」という固定観念が、今もなお残っています。一方で働く女性は増え、共働き世帯の割合は年々高まっています。



家庭内でのジェンダー平等に向け、夫婦で協力して、仕事・家事・育児が同じ負担になるように分担してみましょう。

先入観をなくし、意識を変える

イメージや先入観を押し付けることなく、個性や能力を發揮できる社会を実現しましょう。

企画政策課 ☎225-2450



父親の利用も増えてきた子育て支援センター (コロナ前に撮影)

新型コロナウイルス感染症の流行から、2年が経ちました。その間、人との接し方や日々の暮らし、働き方など、多くの物事が様変わりしています。そんな中、在宅勤務の増加や外出自粛などで家族との時間が増え、家庭での役割分担や意識を変え、きっかけになっていくという声も聞かれています。

厚木はもとより、世界中で取り組まれている持続可能な開発目標「S

です。制度は、性的少数者や事実婚の方たちの関係を市が認めるものです。制度の導入が、多様な価値観を知り、尊重し合うきっかけになることを願っています。

住みやすいまちとは、多くの選択肢があり、多様性が尊重されるまちだと思えます。厚木市がいつまでも、誰にとっても住みやすく、安心して暮らせるまちであるよう、これからも市政運営に力を投入してまいります。

DGs」。その17の目標の一つに「ジェンダー平等を実現しよう」があります。多様で柔軟な家庭の在り方や考え方を的確に捉え、これからのまちづくりに生かしてまいります。

市では、4月からパートナーシップ宣誓制度を導入します。

Zoom Up

4月1日スタート

パートナーシップ宣誓制度

宣誓制度は、性的少数者や事実婚の方のパートナーシップ関係を市が認めるものです。宣誓者の関係を理解されない悩みの軽減に加え、市営住宅の申し込みなどでもできるようにになります。4月からの制度開始に向け、事前申し込みを受け付けます。

市では、まちづくりの方向性を示した第10次総合計画の基本施策の一つに「多様性の尊重と平和都市の推進」を定めています。人権施策推進指針にも、性的少数者（右下欄参照）に向けた施策の推進を定め、制度の導入に向けて検討を進めてきました。

理解を深めるきっかけに

パートナーシップとは、対等な立場で相互に責任を持って協力し、共生生活する二人の関係を言います。制度は、

多様性のあるまちに

市では、4月からの制度開始に向け、

法律上の婚姻とは異なり、権利や義務は生じません。しかし、市が公的に関係を認めることで、宣誓者の悩みや生きづらさの軽減につなげていきます。検討に当たった市男女共同参画推進委員会の奥田七代さんは「多くの人に理解が広がり、受けられる行政サービスなども増えてほしい」と期待を込めます。

3月10日から宣誓日の事前予約を始めます（下欄参照）。予約日に、必要な書類を市の担当窓口に出し、宣誓すると、原則1時間程度で受領証などが交付されます。受領証があると、市営住宅に申し込んだり、災害見舞金を受け取ったりできるようになります。私たちの身近には、多様な人たちが暮らしています。市ではこれからも、性別や国籍の違いなどに関わらず、個々を尊重し、誰もが生きやすいまちづくりを進めていきます。

市民協働推進課 ☎25-2215



宣誓書のイメージ



多様性が当たり前の社会に

市男女共同参画推進委員会
委員長 奥田七代さん（毛利台）

委員会では、パートナーシップ宣誓制度の導入に向けて昨年からの検討してきました。大切なのは、私たちが暮らす社会には、多様な人が共に暮らしている現状を多くの人を知ることです。理解までは行かなくても、初めは知だけでいい。それぞれの個性を当たり前を受け止めてほしいです。

あらゆる個性が大切にされる社会は、あらゆる人が活躍できる社会です。こうした制度の導入は、より個性を輝かせるまちにしていくための第一歩です。選択肢が増えることで、多様な声が集まり、考え方の枠が広がります。その広がりによって、誰もがより暮らしやすいまちになっていくと思います。

市民協働のまちづくり

市民の皆さんと共により良いまちをつくるために、二つの制度を設けています。

市民協働提案事業

市民活動団体と市が地域の課題解決などに向け、共に事業を実施する制度です。

《仕組み》申請団体がプレゼンテーションし、採択されると経費負担など市の支援が3年間受けられる。

実施例：がん啓発・両立支援プロジェクト、あつぎごちゃまぜフェスなど



2021年に開催した展示

市民活動推進補助金

市民活動をサポートし、より良い地域をつくるため、補助金を交付しています。

《仕組み》福祉、環境、教育、文化、子育てなど、要件を満たした事業に3回まで補助金を交付する。実施例：地域の居場所づくり、高齢者の健康づくりなど

（申請方法）

毎年5月に受け付けています。詳しい内容は、広報あつぎ5月1日号や市HPに掲載。



市民協働推進課 ☎225-2141

パートナーシップ宣誓制度の概要

制度の対象や、申請方法などをお知らせします。

《対象》

成年で①二人が市内に同居または一人が市内在住でもう一人が3カ月以内に同居予定②婚姻していない③他の相手と同様の宣誓をしていない④近親者でない⑤養子縁組をしていないの全てを満たす方

《宣誓日の事前予約》3月10日開始

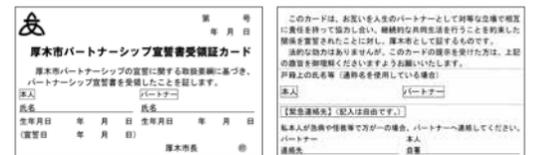
直接、電話またはEメールに、二人の氏名（ふりがな。通称名を使用する場合は、戸籍上の氏名と併記）、電話番号、希望日時（平日、9～12時、13～16時）を書き、希望日の2カ月～7日前に市民協働推進課 ☎2800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

《必要書類》

- ①二人の住所確認書類（住民票の写しなど）
- ②独身の確認書類（戸籍抄本など）
- ③本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証など）
- ④通称名を使う場合は確認書類（郵便物など）

《宣誓当日》

予約日時に必要書類を持ち、市民協働推進課（本庁舎1階）へ。宣誓書などを書き、原則1時間程度で、受領証、受領証カード、宣誓書の写しを交付。



希望する方に配布するカードのイメージ

受けられる主な行政サービス（要件あり）

- ①市営住宅への入居申し込み
- ②災害見舞金・弔慰金の受給

詳しくは [厚木市 パートナーシップ](#) 検索

市民協働推進課 ☎225-2215

性的少数者を表す言葉の一つに「LGBTQ」があります

	体の性	心の性	好きになる性	
L (レズビアン)	♀	♀	♀	女性を好きになる女性
G (ゲイ)	♂	♂	♂	男性を好きになる男性
B (バイセクシャル)	♀♂	♀♂	♀♂	女性も男性も好きになる人
T (トランスジェンダー)	♀♂	♀♂	♀♂	体の性と自認する性が異なる人
Q (クエスチョニング)	?	?	?	心の性や好きになる性が定まらない、決めたくない、分からない人

タウンガイド

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📍=講座予約システム(📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。

「春の気配」
 #2月7日撮影
 #梅
 #若宮公園
 #niceatsugi
 広報課公式インスタグラムで公開中



年度末・年度初め 目曜も窓口を臨時開庁



転入・転出などの手続きが集中する時期に、通常の土曜開庁に加え窓口を開設します。☎行政経営課☎225-2099

開設日時	開設窓口	取り扱い業務
3月27日・4月3日 8時30分～12時	市民課 ☎225-2110	住民異動届(転出・転入・転居など)／印鑑登録／戸籍に関する届け出／住民票の写しなどの証明書・マイナンバーカード・課税証明書の交付
3月26・27日 8時30分～12時	国保年金課 ☎225-2120	国民健康保険の加入・脱退などの届け出や給付申請／被保険者証・国民健康保険料納付書の発行(後期高齢者医療・国民年金を除く)
3月26・27日 8時30分～12時	子育て給付課 ☎225-2230	医療証の発行／児童手当・児童扶養手当の申請など
3月26・27日 8時30分～12時	学務課 ☎225-2650	学区変更などによる、小・中学校の新入学手続き。当日は市民課☎225-2110へ。

新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)
 感染の不安のある方、健康・医療の相談、診療ができる医療機関の案内など
 ☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

原動機付自転車などの廃車・変更届け出はお早めに

軽自動車税(種別割)は、4月1日に原動機付自転車、軽自動車などを所有または使用する方に課税されます。盗難や譲渡などで所有していない場合は、3月中に手続きをしてください。

《手続き場所》原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊自動車=市民税課☎225-2012、軽二輪車(125cc超～250cc以下)・二輪の小型自動車(250cc超)=相模自動車検査登録事務所☎050-5540-2037、三輪・四輪以上の軽自動車(660cc以下)=軽自動車検査協会神奈川事務所相模支所☎050-3816-3120。
 ☎市民税課☎225-2012。

スポーツなじみDAY

3月19日、10時～15時30分。荻野

運動公園。年齢問わずできるニュースポーツを楽しむ。屋内=ボッチャ、バウンスボール、ドッジビー、カーレット、ビーチボール、体力チェックコーナーなど。室内履きをお持ちください。屋外=ティーボール、グラウンド・ゴルフなど(雨天時は屋内種目のみ)。無料。☎当日直接会場へ。☎スポーツ推進課☎225-2531。



あつぎ郷土博物館臨時休館

3月25日は、展示会準備のため臨時休館します。☎あつぎ郷土博

物館☎225-2515。

青春劇場 よしもとお笑いライブ

3月21日、14～15時。アミューあつぎ。吉本興業の人気お笑い芸人によるライブ。定員100人。500円。☎当日直接会場へ。3月1～20日、10～19時に、厚木市まるごとショップあつぎまで事前整理券を配布。先着順。☎商業にぎわい課☎225-2840。



みんなの声でつくるまち

《意見交換会》

■河川等施設維持管理計画
 3月15日、19時～20時30分。市役所第二庁舎。☎電話またはファクス、Eメールに意見交換会名、〒住所、氏名、電話番号を書き、3月14日までに河川ふれあい課☎225-2380・☎225-3027・✉5500@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

《パブリックコメント》

■今後の住民票広域交付事業
 《閲覧期間》3月1～31日《閲覧場所》行政経営課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、中央図書館、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。☎行政経営課☎225-2160。

大切な人の悩みに気付いて
3月は自殺対策強化月間
 進学や就職など生活環境が大きく変わる3月は、自殺者が増える傾向にあります。一人で悩まず、相談してください。

■いのちのサポート相談
 電話または対面で臨床心理士に相談できます。(事前予約制)
 《日時》①3月3日 9～12時
 ②3月22日 13～16時
 《場所》保健福祉センター 《対象》市内在住の方
 ☎いずれも前日までに健康づくり課☎225-2201へ。



相談窓口一覧「こころ、元気ですか?」
 あつぎ 元気Wave
 3/1～CATVで放送

新型コロナウイルスワクチン接種
5～11歳の方に接種券を送付
 3月上旬
 実施場所 市内・愛川町の約20医療機関
 予約方法 接種券に同封する医療機関一覧表に掲載の接種券が届き次第、必要に応じて予約をお願いします。
 ☎新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター☎0570-054-666

地域医療を守るために
適切な受診を
 感染症患者が増え、医療従事者への負担が増えています。適切な受診をお願いします。
 ☎健康長寿推進課☎225-2174

■平日・診療時間内の受診を
 休日・夜間は緊急性の高い患者を受け入れています。症状が軽い場合は、平日に受診してください。☎0120-31-4156

■救急車を呼ぶか迷ったら
 健康などの相談ができるあつぎ健康相談ダイヤル24に連絡してください。

インターネットモニターからの意見を紹介
 Hot E Mail
 インターネットモニター募集
 厚木市 インターネットモニター 検索
 ☎広報課☎225-2043

2月1日号「広報あつぎ」を読んで
 ◆成人になることが喜ばしくなるような笑顔がすてきだった/30代男性 ◆南毛利分署が整備されるのを楽しみにしていた。女性職員を含め、今後の活躍を期待/70代以上男性 ◆市中感染が怖い。気を引き締めたい/40代女性 ◆成年年齢引き下げの背景や議論をさらに踏み込んで紹介し、求められることを考えられる面にしてほしかった/70代以上男性 ◆コンビニ交付できるのは知らなかった。ぜひ利用したい/50代女性

編集後記
 休日に2人の子どもを連れ、3人で出掛けました。2人を抱えて歩いていると年配の方から「パパなのに偉いね」と声を掛けられうれしくなりました。しかし、「性差と役割」をテーマに取材を進める中で、あの時を振り返ると、まだ育児は女性の役割というイメージがあるということなんだと考えさせられました。私自身も普段の何げない発言や行動を顧みるきっかけになりました/森



市内各地で楽しめる

さくらスポット

きれいなサクラが見られる季節が近づいています。感染対策をして、身近な場所で春の訪れを感じてみませんか。

☎観光振興課 ☎225-2820



1 相模川三川合流点

場所 厚木野球場付近



2 飯山白山森林公園

場所 飯山5601



3

場所 相模川沿い
相模川沿い



市内のサクラ情報はこちら



あつぎ飯山桜まつりの情報はこちら

3月下旬からミツマタも見頃



広沢寺温泉から徒歩1時間の不動尻広場、県立七沢森林公園で見られます。

地域再発見! 厚木地域
家康・芸妓・ヨシゴイ

博物館が所蔵する資料から、地域の魅力を再発見する展示会を開催します。

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515



ヨシゴイの剥製

日時 3月26日~6月26日
9~17時
場所 郷土博物館
費用 無料
内容 線香台や昆虫標本などの文化財を約100点展示



厚木の農機具屋 畜力犁の普及戦略 地域展 関連講座

3月26日、14~16時。学芸員があつぎの農機具とその周辺を語る。定員50人。無料。

☎ハガキ、ファクスに講座名、受講者全員の氏名、代表者の住所と電話番号を書き、3月16日(必着)までに〒243-0206下川入1366-4 あつぎ郷土博物館 ☎246-3005へ。抽選。📧

自然歳時記

● ミヤマホオジロ ● ホオジロ科

カシラダカに似ているが、黒と黄色の冠羽がよく目立ち、頭部と喉が黄色いホオジロ類の仲間。体長 15.5cmほどあまり見掛けない冬鳥。林の縁や明るい雑木林で見られる / 七沢の林縁で見つけた。写真・文 / 吉田文雄



カシラダカの群れが休耕田のツルヨシに止まったが、すぐ地面に降り、見えなくなった。夏の間茂っていた雑草が種子となって、鳥たちの貴重な食料となっていたのだ。声も立てずに種子をついばんでいた鳥が、何かに驚いて一斉に飛び立ち桜の枝に止まった。その中

に一羽、違う鳥がいた。胸にある黒い逆三角形の模様が目立つりしいミヤマホオジロが、じっとこちらを見ていた。カシラダカの群れに紛れて活動していたのだろうか。同じホオジロ類、食料を分け合い、助け合って生きている姿に、人間も学ばなければと思った。

厚木市の人口 (2月1日現在) 世帯数 10万1764世帯 (前月比27世帯増) 人口 22万3498人 (前月比73人減) 男11万5144人・女10万8354人